

# IR資料

-2025年3月期 第2四半期-

2024年11月08日

ニプロ株式会社



# 目次

事業の概況 .....	2
2024 年度 2Q 業績 .....	3
2024 年度 通期予想の変更（全体） .....	4
販売費および一般管理費 主要科目 .....	5
販売費および一般管理費 研究開発費 .....	6
設備投資額・減価償却費 .....	7
為替影響を除いた損益比較 .....	8
為替感応度 .....	9
事業セグメント別 売上高・営業利益 .....	10
セグメント業績 - ①医療関連事業（国内） .....	11
セグメント業績 - ①医療関連事業（国際） .....	12
セグメント業績 - ②医薬関連事業 .....	13
セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業 .....	14
セグメント別・製品群別の売上高 .....	15
セグメント別・地域別の売上高 .....	16
製品分類表 .....	17
製商品別売上高 .....	18、19

# 事業の概況

## 製造・購買・物流

2024年度のダイアライザライン(秋田大館、中国合肥)の新設は下記。

秋田大館工場においては2024年10月に10ライン目が新規稼働したほか、2025年2月にFBダイアライザの7ライン目、2025年4月11ライン目が稼働予定。

2024												2025			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
		合肥工場 ダイアライザ 4ライン目 新規稼働	大館工場 ダイアライザ 9ライン目 新規稼働						大館工場 ダイアライザ 10ライン目 新規稼働				大館工場 FBダイアライザ 7ライン目 新規稼働		大館工場 ダイアライザ 11ライン目 新規稼働

## 販売

- 透析用医療機器 : ダイアライザは北米で大型案件の獲得、欧州ではエジプト政府入札の出荷開始や他社からの切替、アジアでのシングルユース拡大や政府向け販売の開始により販売が増加。透析センターは中南米、中国にて拡大。
- バスキュラー関連製品 : 薬剤溶出バルーンの適応拡大により販売増加するも、一部製品で競合他社の上市により販売が減少。
- SD関連製品 : HeartMate3の適応拡大に伴う販売・保守契約増加により順調に推移。
- 自社医薬品 : 体外診断薬等はコロナウイルスとインフルエンザの同時検査キットの販売により好調なものの、経口剤は薬価下落と限定出荷の影響、注射剤は薬価上昇による数量低下により販売が減少。
- 受託医薬品 : 日本ではGE品の受注減や受託終了により販売が減少したが、先発品・長期収載品においては受注増加及び新規受託品の納入開始により販売が増加。海外はJMIファーマの販売が堅調に推移。
- ファーマパッケージング : 米国でバイアル・生地管、中国でバイアル・アンプルの販売数量が減少したものの、欧州で滅菌済シリンジ、インドでアンプル・バイアル、日本で輸液関連製品・生地管などの需要増加により、ファーマパッケージング全体としては販売が増加。

## SARSコロナウイルス抗原・インフルエンザウイルス抗原キット（一般用検査薬）の製造販売承認取得（9月24日）

一般用SARSコロナウイルス抗原・インフルエンザウイルス抗原キット「V トラスト®SARS-CoV-2+Flu Ag(一般用)」が、2024年8月7日付で一般用検査薬（第一類医薬品）として製造販売承認を取得した。本製品はSARS-CoV-2ウイルス、A型・B型インフルエンザウイルス抗原を定性的に同時に検査する抗原定性検査キットであり、今冬も新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念される中で日本政府が推奨する自己検査に活用することができる。

# 2024年度2Q 業績

	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額 (増減率)	上期予想 (進捗率)	2024年度 通期予想 (5月時点)	2024年度 通期予想 (11月時点)
売上高	2,858.6	3,120.1	+261.5 +9.1%	3,166.2 98.5%	6,450.0	6,450.0
売上原価	2,000.6	2,176.7	+176.1 +8.8%	2,211.7 98.4%	4,525.0	4,525.0
売上総利益 (※1)	858.0 30.0%	943.4 30.2%	+85.3 +9.9%	954.4 98.8%	1,925.0 29.8%	1,925.0 29.8%
販売管理費	723.1 25.3%	808.8 25.9%	+85.6 +11.8%	808.2 100.1%	1,600.0 24.8%	1,600.0 24.8%
営業利益	134.8 4.7%	134.5 4.3%	△0.2 △0.2%	146.2 92.1%	325.0 5.0%	325.0 5.0%
経常利益 (※2)	147.3 5.2%	44.9 1.4%	△102.4 △69.5%	126.4 35.5%	276.0 4.3%	223.0 3.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	99.3 3.5%	1.2 0.0%	△98.0 △98.7%	61.0 2.1%	158.0 2.4%	158.0 2.4%

四半期別業績推移				
2023年度			2024年度	
2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
1,452.7	1,532.6	1,476.5	1,523.9	1,596.2
1,025.3	1,070.0	1,084.0	1,064.8	1,111.8
427.3 29.4%	462.6 30.2%	392.4 26.6%	459.0 30.1%	484.3 30.3%
365.8 25.2%	373.9 24.4%	392.7 26.6%	401.1 26.3%	407.6 25.5%
61.5 4.2%	88.7 5.8%	△0.2 △0.0%	57.8 3.8%	76.7 4.8%
58.3 4.0%	52.7 3.4%	△5.0 △0.3%	64.2 4.2%	△19.2 △1.2%
58.3 4.0%	26.9 1.8%	△15.2 △1.0%	26.2 1.7%	△24.9 △1.6%

- 売上高 医療関連事業は、国内では販売が減少したものの、海外では円安影響に加え、B2B事業と北米、欧州、アジアにてダイアライザの販売が好調。医薬関連事業は、GE品は経口剤・注射剤の受注減により販売が減少したものの、先発・長期収載品においては注射剤で受注増により好調。ファーマパッケージングは、日本及び欧州で販売が好調。これら要因により、売上高は前年対比9.1%増加。
- 売上総利益 継続的な製造設備の投資による償却費の増加、未実現利益の控除額増加により利益が減少したものの、労務費、電力料の上昇が抑制されたことにより、売上総利益は前年対比で9.9%増加。
- 営業利益 海外子会社における人件費、支払手数料と北中南米での透析センター買収に伴う償却費の増加により、営業利益は前年対比で微減。
- 経常利益 持分法による投資損失と支払利息の増加に加え、前年は為替差益が36.0億円計上されていたものの、今年是为替差損を47.0億円計上したため、差し引き83.0億円利益が悪化したことにより、経常利益は前年対比で102.4億円減少。
- 当期純利益 前年に計上されていた政策保有株式の売却益と固定資産売却益が、今年は計上がないことに加え、赤字子会社連結による実効税率上昇の影響を受け、当期純利益は前年対比98.0億円減少。

(※1) 売上総利益への  
未実現利益の影響額  
2023年度2Q △12.6億円  
2024年度2Q △23.5億円

(※2) 為替損益  
2023年度2Q +36.0億円  
2024年度2Q △47.0億円

# 2024年度 通期予想の変更（全体）

単位:億円	2024年度 2Q	上期予想 (進捗率)	2024年度 通期予想 (5月時点)	2024年度 通期予想 (11月時点)	通期予想 増減額 (増減率)
売上高	3,120.1	3,166.2 98.5%	6,450.0	6,450.0	0.0 +0.0%
売上原価	2,176.7	2,211.7 98.4%	4,525.0	4,525.0	+0.0 +0.0%
売上総利益	943.4 30.2%	954.4 98.8%	1,925.0 29.8%	1,925.0 29.8%	0.0 +0.0%
販売管理費	808.8 25.9%	808.2 100.1%	1,600.0 24.8%	1,600.0 24.8%	0.0 +0.0%
営業利益	134.5 4.3%	146.2 92.1%	325.0 5.0%	325.0 5.0%	0.0 +0.0%
経常利益	44.9 1.4%	126.4 35.5%	276.0 4.3%	223.0 3.5%	△ 53.0 △19.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.2 0.0%	61.0 2.1%	158.0 2.4%	158.0 2.4%	0.0 +0.0%

- 売上高 上期は予想を下回ったものの、下期は出荷制限の一部解除や受託製造品増産による出荷増を見込んでいるため、通期予想は変更なし。
- 売上総利益 上期は予想を下回ったものの、下期は売上高の増加に加え、医薬関連事業での補助金入金に伴う償却費の圧縮等、原価低減を見込んでいるため、通期予想は変更なし。
- 営業利益 販売管理費は予想通りで推移しているため、通期予想は変更なし。
- 経常利益 営業外費用（為替差損）の増加により、期初の通期予想より53.0億円下方修正。
- 当期純利益 下期に特別利益を計上予定のため、通期予想は変更なし。

# 販売費および一般管理費 主要科目

単位:億円	2023年度2Q	2024年度2Q		増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 (進捗率)
		実績	構成比		
人件費	241.9	271.7	33.6%	+29.8 +12.3%	<b>514.4</b> 52.8%
研究開発費(※1)	85.7	88.8	11.0%	+3.0 +3.6%	<b>190.0</b> 46.8%
運送費	69.8	74.6	9.2%	+4.7 +6.9%	<b>176.4</b> 42.3%
償却費(※2)	64.0	76.6	9.5%	+12.6 +19.7%	<b>132.7</b> 57.7%
支払手数料(※3)	33.2	51.5	6.4%	+18.2 +54.9%	<b>99.8</b> 51.6%
販促費(※4)	48.3	44.4	5.5%	△3.9 △8.1%	<b>96.5</b> 46.0%
旅費交通費	20.9	22.8	2.8%	+1.9 +9.1%	<b>52.2</b> 43.8%
保管料	17.3	19.6	2.4%	+2.3 +13.4%	<b>31.9</b> 61.4%
上記以外の科目	141.6	158.4	19.6%	+16.7 +11.8%	<b>305.7</b> 51.8%
合計	723.1	808.8	100.0%	+85.6 +11.8%	<b>1,600.0</b> 50.6%

(※1) 研究開発費・試験研究費・開発償却費  
 (※2) 減価償却費・のれん償却費  
 (※3) 支払手数料・顧問料  
 (※4) 販売手数料・見本品費・広告宣伝費・交際接待費

- **人件費** 国内はベースアップと従業員数増加、海外は為替影響や従業員数増加によって前年対比で29.8億円増加。
- **運送費** 欧米向けの出荷量増加、運賃上昇に伴い運送費は前年対比で4.7億円増加。
- **償却費** 北中南米において透析クリニック買収によるのれんと透析装置等の設置が増加したことにより、前年対比で12.6億円増加。
- **支払手数料** 国際事業部において透析管理システムのライセンス契約料、欧州での透析装置の認証取得にかかる費用、透析装置の開発・保守の委託費が増加したことにより、前年対比で18.2億円増加。

# 販売費および一般管理費 研究開発費

	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想
単位:億円				
医療 (※1)	49.7	54.9	+5.1 +10.4%	101.6
医薬	43.5	39.2	△4.2 △9.8%	85.0
ファーマ パッケージング	1.5	1.6	+0.1 +10.2%	3.4
合計 (※2)	94.8	95.8	+1.0 +1.1%	190.0

(※1) 外部委託による研究開発費を今年度より計上した為、前年度の数値も修正しています。

(※2) 製造原価における研究開発費も含んでいます。

- **医療** バスキュラーの新製品開発等により、前年対比で5.1億円増加。
- **医薬** 償却費、委託研究費等の減少により、前年対比で4.2億円減少。
- **PP** 新たな製品の開発等により、前年対比で0.1億円の微増。

# 設備投資額・減価償却費

	設備投資額					減価償却費			
	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 (5月時点)	2024年度 通期予想 (11月時点)	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円									
医療関連	262.9	205.8	△57.1 △21.7%	384.0 53.6%	384.0 53.6%	129.2	165.6	+36.3 +28.2%	318.1 52.1%
医薬関連	80.4	115.8	+35.4 +44.0%	103.0 112.5%	※ 143.0 81.0%	71.4	75.1	+3.7 +5.2%	156.1 48.2%
ファーマパッケージング	75.2	39.2	△36.0 △47.9%	125.0 31.4%	125.0 31.4%	30.6	36.7	+6.0 +19.8%	67.7 54.3%
その他	55.2	17.4	△37.7 △68.4%	12.0 145.8%	12.0 145.8%	26.8	24.8	△1.9 △7.4%	56.2 44.2%
合計	474.0	378.4	△95.5 △20.2%	624.0 60.7%	664.0 57.0%	258.2	302.3	+44.1 +17.1%	598.1 50.6%

(※) 今年度入金が予定されていた補助金62.5億円のうち、4Qに22.5億円は入金されるが、残り40.0億円は来年度の入金と確定したため、通期予想を103.0億円から143.0億円へ変更。

## ●設備投資額

医療関連は中国合肥工場でダイアライザラインの設備投資を34.7億円実施、また大館工場でもダイアライザラインの設備投資を90.6億円実施したものの、昨年度大館工場における建屋と設備の投資額が181.2億円であったため、他工場含めた投資額は前年対比で57.1億円減少。

医薬関連はニプロファーマ近江工場で抗菌薬棟とバイアル棟で89.6億円の設備投資実施により、前年対比で35.4億円増加。

ファーマパッケージングはドイツ、フランス、インドおよび中国での製造設備投資額が減少し、前年対比で36.0億円減少。

その他は埼玉の医薬品研究所の建屋建築工事が前年に完了したことにより、前年対比で37.7億円減少。

## ●減価償却費

各セグメント共に大きな工期遅延は無く設備が稼働開始しており、減価償却費は予定通り推移。



# 為替影響を除いた損益比較

	2023年度2Q	2024年度2Q	為替の影響 (※)	影響を除いた 2024年度	増減率
単位：億円	【a】	【b】	【c】	【d=b-c】	【d÷a】
売上高	2,858.6	3,120.1	+158.2	<b>2,961.9</b>	+3.6%
売上原価	2,000.6	2,176.7	+87.0	<b>2,089.7</b>	
売上総利益	858.0	943.4	+71.1	<b>872.2</b>	+1.7%
(%)	30.0%	30.2%		<b>29.4%</b>	
販管費	723.1	808.8	+40.2	<b>768.5</b>	
営業利益	134.8	134.5	+30.9	<b>103.6</b>	△23.2%
(%)	4.7%	4.3%		<b>3.5%</b>	
営業外収益	60.6	26.0	+83.0	△56.9	
営業外費用	48.1	115.7		+115.7	
経常利益	147.3	44.9	+113.9	△69.0	△146.9%
特別利益	51.1	1.7		+1.7	
特別損失	23.9	6.2		+6.2	
税引前利益	174.5	40.5	+113.9	△73.4	△142.1%
法人税等	70.4	32.3	+91.0	△58.7	
非支配株主に 帰属する純利益	4.7	6.8		<b>6.8</b>	
当期利益	99.3	1.2	+22.8	△21.5	△121.7%

※ 昨年レートとの差額で外貨取引合計を円換算  
円貨取引における為替の影響は考慮していません。

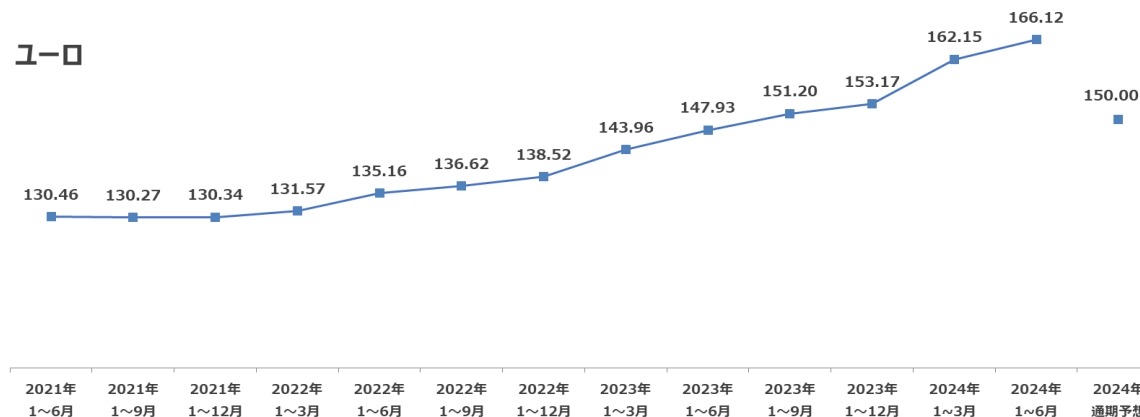
期中平均レート	2023年	2024年	期末レート	2022年	2023年	2023年	2023年	2023年	2024年	2024年	2024年
	1~6月	1~6月		12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
1 USD	136.54	154.06	1 USD	132.70	133.53	144.99	149.58	141.83	151.41	161.07	142.73
1 EUR	147.93	166.12	1 EUR	141.47	145.72	157.60	158.00	157.12	163.24	172.33	159.43
1 中国元	19.55	21.25	1 中国元	19.01	19.42	19.94	20.46	19.93	20.83	22.04	20.46

# 為替感応度

【1円変動による年間影響額】

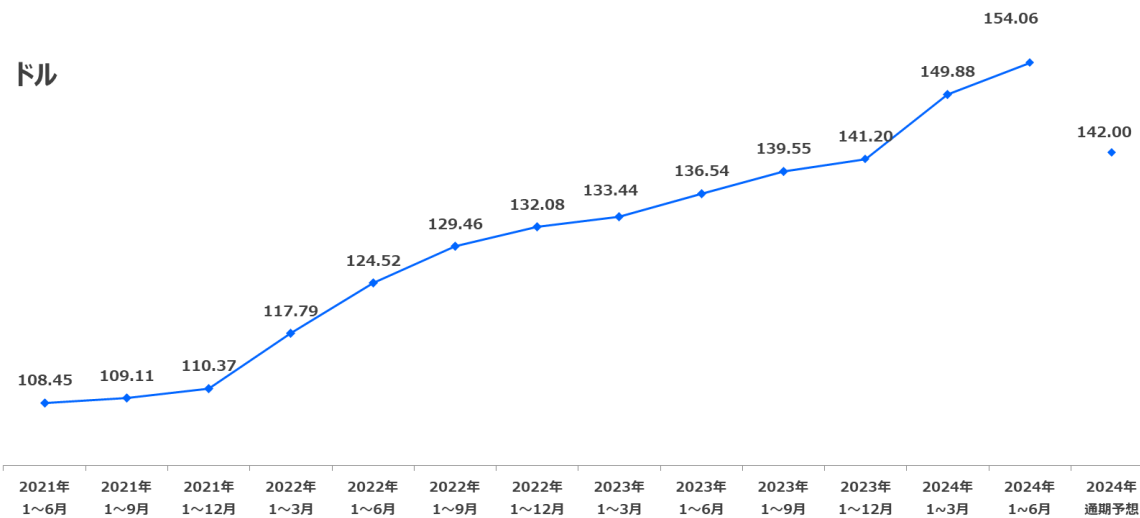
	(億円)		
	ドル	ユーロ	元
売上高	9.2	5.7	16.9
営業利益	1.1	2.2	7.6

ユーロ

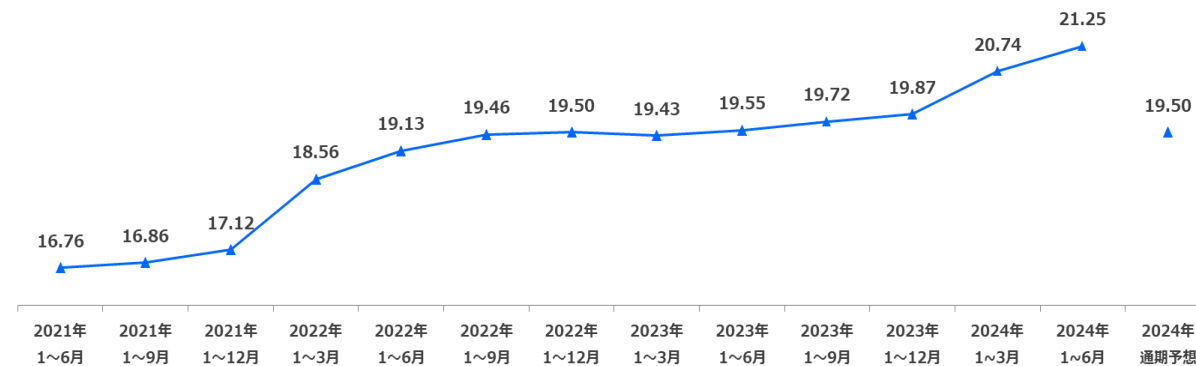


【期中平均レート】

ドル



元

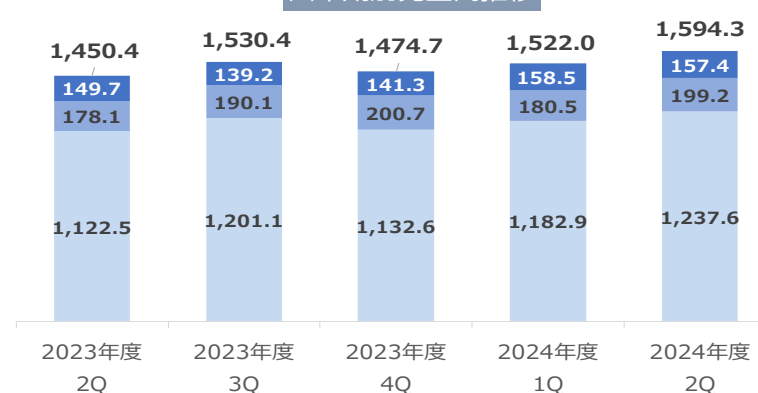


# 事業セグメント別 売上高・営業利益

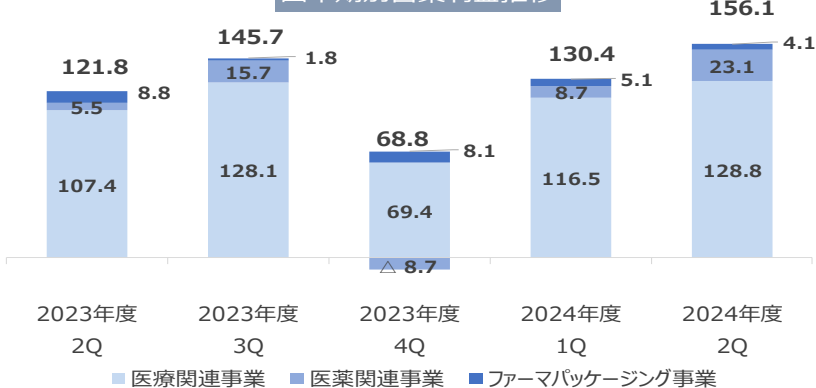
売上高	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想
単位：億円				
医療関連事業	2,202.3	2,420.5	+218.1 +9.9%	5,013.0
医薬関連事業	352.3	379.8	+27.4 +7.8%	812.5
ファーマパッケージング事業	299.8	315.9	+16.1 +5.4%	618.2

営業利益	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想
単位：億円				
医療関連事業	225.6 10.2%	245.4 10.1%	+19.7 +8.8%	471.0 9.4%
医薬関連事業	37.3 10.6%	31.9 8.4%	△5.4 △14.6%	90.3 11.1%
ファーマパッケージング事業	14.5 4.8%	9.3 2.9%	△5.1 △35.8%	26.0 4.2%

四半期別売上高推移



四半期別営業利益推移



● 医療関連事業

原材料費・償却費・人件費・支払手数料が増加したものの、海外での医療機器販売が好調であったことから、事業全体では営業利益は前年対比で19.7億円増加。

● 医薬関連事業

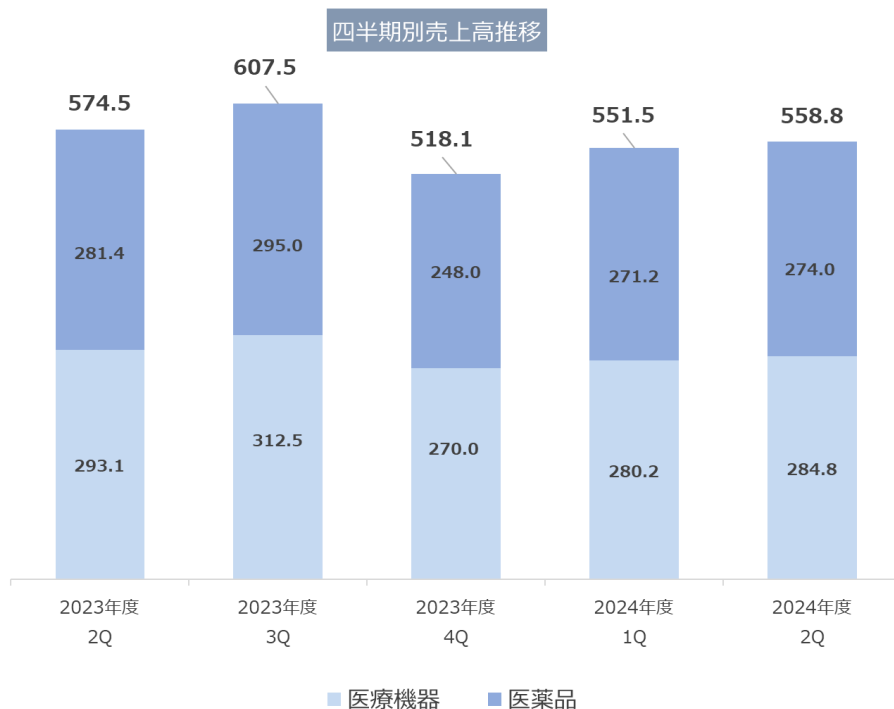
GE品は受注減で売上高減少しているものの、先発・長期収載品の注射剤・外用剤にて新規受託品の販売好調により、売上高増加。一方で、近江工場立ち上げに係る人件費、減価償却費、水道光熱費等の増加により、営業利益は前年対比で5.4億円減少。

● ファーマパッケージング事業

売上は増加するも、労務費、償却費の増加により、営業利益は前年対比で5.1億円減少。

# セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）

売上高	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想
単位：億円				
国内事業	1,137.9	1,110.3	△ 27.6 △ 2.4%	2,367.0
医療機器	573.3	565.0	△ 8.2 △ 1.4%	1,194.0
医薬品	564.5	545.2	△ 19.3 △ 3.4%	1,173.0



## ●医療機器

注射針類・輸液関連製品・検査製品は1Qから引き続き価格転嫁の実施とコロナ禍で減少した需要が回復したことにより、それぞれ前年対比で8.9億円、6.7億円、1.6億円増加。

SD関連製品は前年2QにおいてHeartMate3の一時的な需要減があったものの、今年はDT症例の適応拡大に伴う販売・保守契約増加により順調に推移し、前年対比で6.4億円増加。

バスキュラー関連製品における薬剤溶出バルーンの国内売上が、前年度1Qと2Qにおいて競合他社の上市により減少していたが、今年は適応拡大により、前年対比で5.1億円売上増加。一方で、スコアリングバルーンとYコネクターの国内売上は、今年度1Qから2Qにかけて競合他社の上市があり、合計1.7億円の売上減少。

また、中国では売上を医療(国内)管轄の子会社から医療(国際)管轄の子会社へ移管したことにより、前年対比で32.4億円減少。

## ●医薬品

経口剤はネキシウムAGを含む薬価下落および限定出荷の影響による販売数量の減少が続き、前年対比で20.5億円減少。

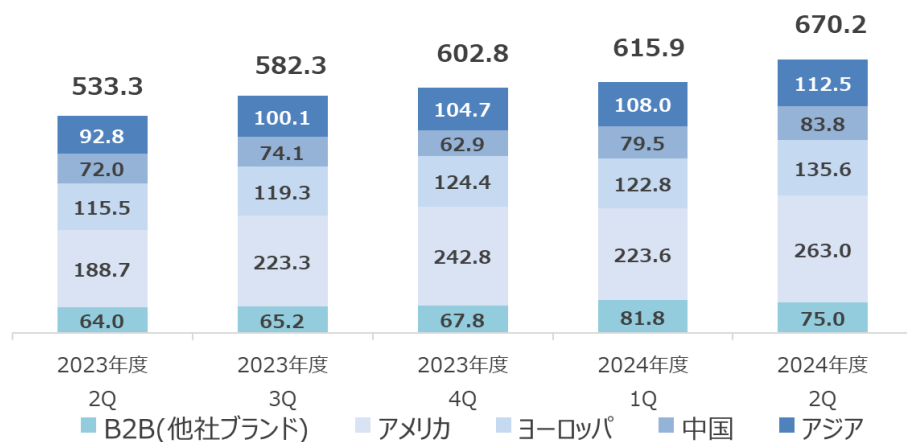
注射剤・輸液では、不採算再算定品目の薬価が上がった反動で販売数量が減少し、前年対比で3.9億円減少。

体外診断薬等は、前年下期にSARSコロナウイルスとインフルエンザウイルスを同時検査できるコンボキットの販売を開始したところ、今年の2Q期間中に新型コロナウイルスの感染者数が増加したことにより前年対比で3.3億円増加。

# セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）

売上高	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想
国際事業	1,039.6	1,286.1	+246.4 +23.7%	2,594.0
B2B(他社ブランド)	135.1	156.8	+21.7 +16.1%	312.5
ニプロブランド	904.5	1,129.2	+224.7 +24.8%	2,281.5
アメリカ	381.1	486.7	+105.5 +27.7%	997.0
ヨーロッパ	221.2	258.5	+37.3 +16.9%	469.4
アジア	170.0	220.5	+50.4 +29.7%	447.0
中国	132.1	163.4	+31.3 +23.7%	368.0

四半期別売上高推移



## ● B2B

欧州におけるGLP-1需要増に伴うインスリン針の販売好調により、前年対比で21.7億円増加。

## ● ニプロブランド

北米ではダイアライザは大型契約により販売が増加。中南米においてはチリ・グアテマラでの透析センター拡大や透析機器と注射針・輸液におけるホンデュラス・メキシコでの政府入札獲得により販売が増加。加えて、代理店の在庫調整のため一時的に減少していたAVFと血液回路の需要回復や円安影響により前年対比で105.5億円増加。

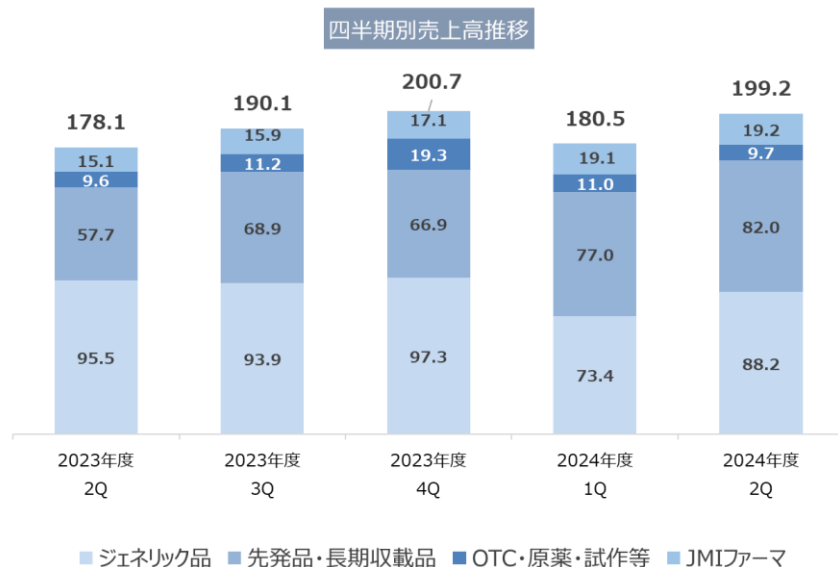
欧州ではダイアライザにおいてエジプト政府入札の出荷開始や、他社からの切替に加え、円安影響により前年対比で37.3億円増加。

アジアではダイアライザがインドネシアにおけるシングルユース化により販売増加。また、サウジアラビア及びインド政府向け販売の透析機器やタイにおける注射針、輸液セットの販売増加、円安影響により前年対比で50.4億円増加。

中国では、集中購買開始に伴う買い控えによりダイアライザの販売が減少したものの、透析センターが拡大したことに加え、バスキュラー関連製品の売上を医療(国内)管轄の子会社から医療(国際)管轄の子会社へ移管したことにより、前年対比で31.3億円増加。

# セグメント業績 - ② 医薬関連事業

売上高	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想
単位：億円				
医薬関連事業	352.3	379.8	+27.4 +7.8%	812.5
ジェネリック品	190.1	161.7	△28.3 △14.9%	347.0
先発品・長期収載品	115.3	159.0	+43.6 +37.9%	334.9
OTC・原薬・試作等	16.9	20.7	+3.8 +22.6%	63.5
JMIファーマ	29.9	38.3	+8.3 +27.9%	67.0



## ● ジェネリック品

経口剤は受注減により前年対比10.0億円減少。

注射剤は主力抗がん剤の顧客在庫過多に伴う受注減や受託終了品目により、前年対比18.3億円減少。

外用剤は前年同期とほぼ横ばい。

## ● 先発品・長期収載品

経口剤は受注増により前年対比で7.7億円増加。

注射剤は新規受託品の納入開始をはじめ、既存品目についても受注増、前年対比で25.7億円増加。

外用剤は新規受託品の納入開始により前年対比で10.2億円増加。

## ● OTC・原薬・試作等

OTC外用剤の受注増加や値上げにより、前年対比で3.8億円増加。

## ● JMIファーマ

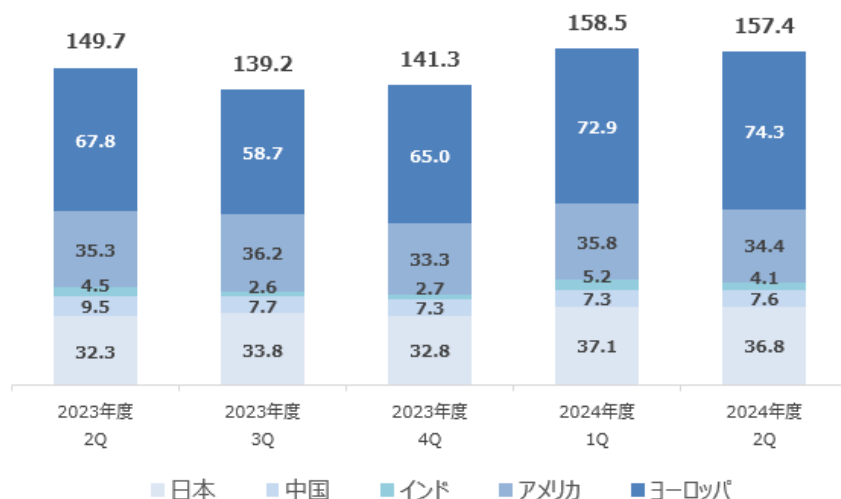
JMIファーマでは医師へのプロモーション強化、慢性疾患製剤への注力に加え、新製品を新規に17品目上市し、採用先も増加したため、現地通貨ベースでは前年対比で19.5%増加した。

日本円ベースでは為替変動の影響により、前年対比で27.9%増加となった。

# セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業

売上高	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想
ファーマパッケージング事業	299.8	315.9	+16.1 +5.4%	618.2
日本	64.6	74.0	+9.4 +14.6%	140.4
海外	235.1	241.9	+6.7 +2.9%	477.7
ヨーロッパ	127.8	147.3	+19.4 +15.2%	289.9
アメリカ	71.7	70.2	△1.5 △2.1%	147.5
中国	27.9	15.0	△12.9 △46.3%	19.4
インド	7.5	9.3	+1.8 +24.0%	20.8

四半期別売上高推移



## ●日本

日本では輸液関連製品とキット用プラスチックの販売にて新規顧客獲得。バイアル硝子は2024年1Qに顧客からの受注が一時的に増加。加えて、生地管は2024年10月実施の価格改定前に買い込み需要が発生し、前年対比で9.4億円増加。

## ●海外

欧州では滅菌済シリンジの需要増加と価格転嫁により、前年対比で19.4億円増加。

米国では生地管・バイアル硝子がワクチン需要減少に伴う顧客の在庫調整により、前年対比で1.5億円減少。

中国では2023年1Qに子会社の持分譲渡に伴う連結除外の影響に加え、2023年度2Qからアンプル硝子・バイアル硝子で低利益率の製品の販売から高利益率の製品へ販売を切り替えたことにより、前年対比で12.9億円減少。

インドでは生地管は理化学用生地管の受注が一時的に増加、アンプル硝子はアルジェリア向けの輸出増加、バイアル硝子は少量製品の積み上げ出荷により、前年対比で1.8億円増加。

# セグメント別・製品群別の売上高

製品	セグメント	医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパッケージング 事業	その他 事業	合計
	単位：億円					
医療機器	2024年度2Q	1,801.3	0.0	22.9	0.0	1,824.3
	2023年度2Q	1,578.8	0.0	20.1	0.0	1,599.0
医薬品	2024年度2Q	617.4	379.8	3.1	0.0	1,000.4
	2023年度2Q	622.9	352.3	4.1	0.0	979.4
ファーマパッケージング	2024年度2Q	1.5	0.0	289.1	0.0	290.6
	2023年度2Q	0.5	0.0	275.0	0.0	275.5
その他	2024年度2Q	0.1	0.0	0.7	3.8	4.7
	2023年度2Q	0.0	0.0	0.4	4.1	4.6
合計	2024年度2Q	2,420.5	379.8	315.9	3.8	3,120.1
	2023年度2Q	2,202.3	352.3	299.8	4.1	2,858.6

(※1) 自社ジェネリック医薬品

(※2) 受託製造医薬品

(※3) 注射針類、輸液関連製品、検査製品



# セグメント別・地域別の売上高

地域	セグメント	単位：億円				
		医療関連事業	医薬関連事業	ファーマパッケージング事業	その他事業	合計
日本	2024年度2Q	1,112.6	337.6	74.1	3.8	1,528.2
	2023年度2Q	1,110.1	320.0	64.8	4.1	1,499.2
海外計	2024年度2Q	1,307.8	42.1	241.8	0.0	1,591.9
	2023年度2Q	1,092.1	32.3	234.9	0.0	1,359.4
アメリカ	2024年度2Q	533.1	0.0	69.0	0.0	602.2
	2023年度2Q	433.6	0.0	66.8	0.0	500.4
ヨーロッパ	2024年度2Q	311.9	1.6	145.6	0.0	459.2
	2023年度2Q	253.3	1.0	131.5	0.0	385.8
中国	2024年度2Q	167.1	0.2	15.0	0.0	182.3
	2023年度2Q	168.7	0.1	27.9	0.0	196.8
その他アジア	2024年度2Q	295.5	40.3	12.1	0.0	348.0
	2023年度2Q	236.4	31.1	8.6	0.0	276.2
合計	2024年度2Q	2,420.5	379.8	315.9	3.8	3,120.1
	2023年度2Q	2,202.3	352.3	299.8	4.1	2,858.6

## ●地域別

地域別売上高比率は国内49.0%、海外51.0%であり、いずれの地域でも販売は堅調。

## ●セグメント別

国内医療機器は注射針類、輸液関連製品、検査製品の価格転嫁とコロナ禍で減少した需要の回復により販売が増加。

また、医薬品はネキシウムAGを含む経口剤と注射剤にて販売減少。

国際医療機器は円安の影響を受けた他、欧米、アジアのダイアライザ、欧州のB2BにおいてGLP-1需要増に伴うインスリン針の販売が好調。中南米、中国において透析センターが拡大。

医薬関連事業は、海外はJMIファーマの販売が堅調に推移。

日本ではGE品にて受注減により販売が減少したものの、先発品・長期収載品において新規受託品の納入開始と既存品の受注増により、全体では販売増加。

ファーマパッケージング事業は日本にて輸液関連製品、キット用プラスチック、生地管、バイアル硝子の需要増加により販売増加。

欧州で滅菌済シリンジ、インドで生地管、アンプル硝子、バイアル硝子の販売が堅調。中国では前年に子会社の持分譲渡に伴う連結除外により、販売が減少。

# 製品分類表

医療機器区分	
ダイアライザ	ダイアライザ（人工腎臓透析器）、HDFフィルター
透析機器	透析システム、メンテナンス、透析機器部品
その他透析関連	血液回路、AVFニードル（翼付留置針） 他
注射針類	PSVニードル（翼付留置針）、セーフタッチニードル 他
バスキュラー関連製品	循環器治療用カテーテルセット、血栓吸引カテーテル 他
輸液関連製品	輸液セット、IVカヌラ 他
検査製品	ネオチューブ、採血針 他
糖尿病関連製品	インスリン針、血糖測定器（海外向け）、ランセット
SD関連製品	補助人工心臓、人工肺、整形外科製品
その他	医療器械、血液関連製品、培養商品、手袋 他
医薬品区分	
経口剤	経口剤
注射剤・輸液	シリンジキット、バイアル製剤、PLW、粉末透析剤、透析液 他
外用剤・貼付剤	外用剤、貼付剤
その他・体外診断薬 等	診断薬、医薬品、血糖測定器 他
ファーマパッケージング区分	
生地管関連	医薬用生地管、非医療用生地管、硝子原料
アンプル硝子	アンプル（シングルチップ、ダブルチップ）
バイアル硝子	バイアル（ブローバック、スクリュー、滅菌済等）
シリンジ硝子	シリンジ（ルアーロック、ルアースリップ、滅菌済等）
ゴム栓・栓体類	ゴム栓、栓体、栓・キャップ類
プラスチック容器	プラスチック品
魔法瓶	魔法瓶用硝子
その他	硝子容器その他、特殊硝子容器、カートリッジ硝子その他など

# 製商品別売上高（1）

単位：億円		全社				海外				日本			
		2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額	増減率	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額	増減率	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額	増減率
【医療機器】	ダイアライザ	446.8	519.3	+72.5	+16.2%	334.7	405.8	+71.0	+21.2%	112.0	113.4	+1.4	+1.3%
	透析機器	108.3	134.4	+26.1	+24.1%	74.5	102.2	+27.6	+37.1%	33.7	32.2	△1.5	△4.5%
	その他透析関連	255.1	299.1	+43.9	+17.2%	213.3	257.0	+43.6	+20.4%	41.7	42.1	+0.3	+0.9%
	<b>透析関連製品計</b>	<b>810.3</b>	<b>952.9</b>	<b>+142.6</b>	<b>+17.6%</b>	<b>622.7</b>	<b>765.1</b>	<b>+142.3</b>	<b>+22.9%</b>	<b>187.5</b>	<b>187.8</b>	<b>+0.2</b>	<b>+0.1%</b>
	注射針類	234.4	265.0	+30.6	+13.1%	153.1	174.8	+21.6	+14.1%	81.2	90.2	+8.9	+11.0%
	バスキュラー関連製品	156.1	168.1	+11.9	+7.7%	38.7	46.5	+7.8	+20.2%	117.4	121.6	+4.1	+3.6%
	輸液関連製品	103.3	119.2	+15.8	+15.4%	41.7	50.9	+9.1	+21.9%	61.6	68.3	+6.7	+10.9%
	検査製品	61.4	62.3	+0.8	+1.4%	43.3	42.5	△0.7	△1.8%	18.1	19.7	+1.6	+9.0%
	糖尿病関連製品	51.9	64.0	+12.1	+23.4%	44.5	58.0	+13.4	+30.1%	7.3	6.0	△1.2	△17.1%
	SD関連製品	41.0	49.6	+8.6	+21.0%	9.5	11.7	+2.2	+23.4%	31.5	37.9	+6.3	+20.2%
	その他	136.8	140.5	+3.7	+2.7%	79.1	84.2	+5.0	+6.3%	57.6	56.3	△1.2	△2.3%
	<b>部 門 計</b>	<b>1,595.5</b>	<b>1,822.0</b>	<b>+226.4</b>	<b>+14.2%</b>	<b>1,033.0</b>	<b>1,233.9</b>	<b>+200.8</b>	<b>+19.4%</b>	<b>562.5</b>	<b>588.1</b>	<b>+25.5</b>	<b>+4.6%</b>
【医薬品(自社)】	経口剤	256.9	236.2	△20.6	△8.1%	0.2	0.1	△0.1	△42.2%	256.6	236.0	△20.5	△8.0%
	注射剤・輸液	280.1	289.9	+9.8	+3.5%	56.6	70.3	+13.7	+24.3%	223.4	219.5	△3.9	△1.8%
	外用剤・貼付剤	33.7	35.7	+1.9	+5.7%	-	-	-	-	33.7	35.7	+1.9	+5.7%
	その他・体外診断薬 等	52.0	55.6	+3.5	+6.7%	1.5	1.7	+0.1	+7.5%	50.4	53.8	+3.3	+6.7%
		<b>部 門 計</b>	<b>622.9</b>	<b>617.4</b>	<b>△5.4</b>	<b>△0.9%</b>	<b>58.5</b>	<b>72.2</b>	<b>+13.7</b>	<b>+23.5%</b>	<b>564.3</b>	<b>545.1</b>	<b>△19.2</b>
【再生医療】	再生医療等製品	3.4	2.2	△1.1	△34.7%	-	-	-	-	3.4	2.2	△1.1	△34.7%

# 製商品別売上高（2）

	単位：億円	全社				海外				日本			
		2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額	増減率	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額	増減率	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額	増減率
〔医薬品(受託)〕													
経口剤		141.9	139.5	△2.4	△1.7%	0.2	0.3	+0.1	+46.9%	141.7	139.1	△2.5	△1.8%
注射剤・輸液		154.2	160.1	+5.8	+3.8%	1.9	2.8	+0.9	+51.4%	152.3	157.2	+4.8	+3.2%
外用剤・貼付剤		19.2	33.1	+13.9	+72.3%	-	0.3	+0.3	-	19.2	32.8	+13.6	+70.7%
その他・体外診断薬 等		11.0	11.8	+0.8	+7.3%	0.2	0.3	+0.1	+45.1%	10.7	11.4	+0.7	+6.5%
<b>部 門 計</b>		<b>326.5</b>	<b>344.6</b>	<b>+18.1</b>	<b>+5.5%</b>	<b>2.3</b>	<b>3.8</b>	<b>+1.4</b>	<b>+63.4%</b>	<b>324.1</b>	<b>340.8</b>	<b>+16.6</b>	<b>+5.1%</b>
〔医薬品(JMIP)〕													
経口剤		29.6	37.9	+8.2	+27.8%	29.6	37.9	+8.2	+27.8%	-	-	-	-
注射剤・輸液		0.2	0.3	+0.0	+34.4%	0.2	0.3	+0.0	+34.4%	-	-	-	-
<b>部 門 計</b>		<b>29.9</b>	<b>38.3</b>	<b>+8.3</b>	<b>+27.9%</b>	<b>29.9</b>	<b>38.3</b>	<b>+8.3</b>	<b>+27.9%</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
〔ファーマパッケージング〕													
生地管関連		65.7	71.1	+5.3	+8.2%	54.7	58.1	+3.4	+6.3%	11.0	12.9	+1.9	+17.6%
アンプル硝子		43.3	45.4	+2.0	+4.8%	43.2	45.3	+2.0	+4.7%	0.0	0.1	+0.0	+21.7%
バイアル硝子		96.3	85.1	△11.2	△11.6%	87.5	74.9	△12.5	△14.4%	8.8	10.1	+1.3	+15.7%
シリンジ硝子		33.9	52.2	+18.2	+53.8%	33.9	52.2	+18.2	+53.7%	0.0	0.0	+0.0	+137.4%
ゴム栓・栓体類		11.1	7.1	△4.0	△36.1%	4.6	0.0	△4.5	△99.6%	6.5	7.1	+0.5	+8.4%
プラスチック容器		9.5	10.5	+1.0	+10.9%	-	0.0	+0.0	-	9.5	10.5	+1.0	+10.9%
魔法瓶		2.7	2.8	+0.1	+5.8%	-	-	-	-	2.7	2.8	+0.1	+5.8%
その他		12.6	16.1	+3.4	+27.4%	11.3	12.5	+1.2	+11.0%	1.3	3.5	+2.2	+167.6%
<b>部 門 計</b>		<b>275.5</b>	<b>290.6</b>	<b>+15.1</b>	<b>+5.5%</b>	<b>235.3</b>	<b>243.1</b>	<b>+7.8</b>	<b>+3.3%</b>	<b>40.1</b>	<b>47.4</b>	<b>+7.3</b>	<b>+18.3%</b>
〔その他〕													
生産機械販売・不動産賃貸		4.6	4.7	+0.0	+1.6%	0.1	0.3	+0.1	+116.7%	4.5	4.3	△0.1	△2.5%
<b>連 結 合 計</b>		<b>2,858.6</b>	<b>3,120.1</b>	<b>+261.5</b>	<b>+9.1%</b>	<b>1,359.4</b>	<b>1,591.9</b>	<b>+232.4</b>	<b>+17.1%</b>	<b>1,499.2</b>	<b>1,528.2</b>	<b>+29.0</b>	<b>+1.9%</b>

本資料における予測数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で  
入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。  
実際の業績等は今後の様々な要因により、本資料の記載事項と大きく異なる可能性があります。